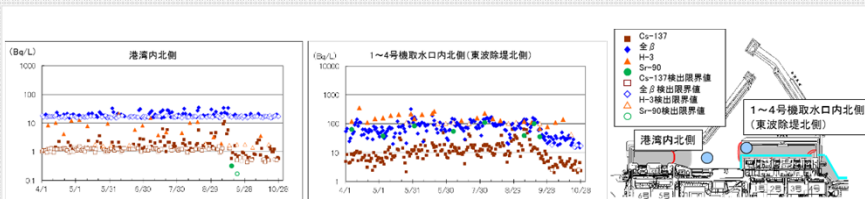


- 前回(10月1日)以降のデータ公開数は約6,500件  
前回以降、「周辺の放射性物質の分析結果」「日々の放射性物質の分析結果」のデータ約6,500件を公開しました。

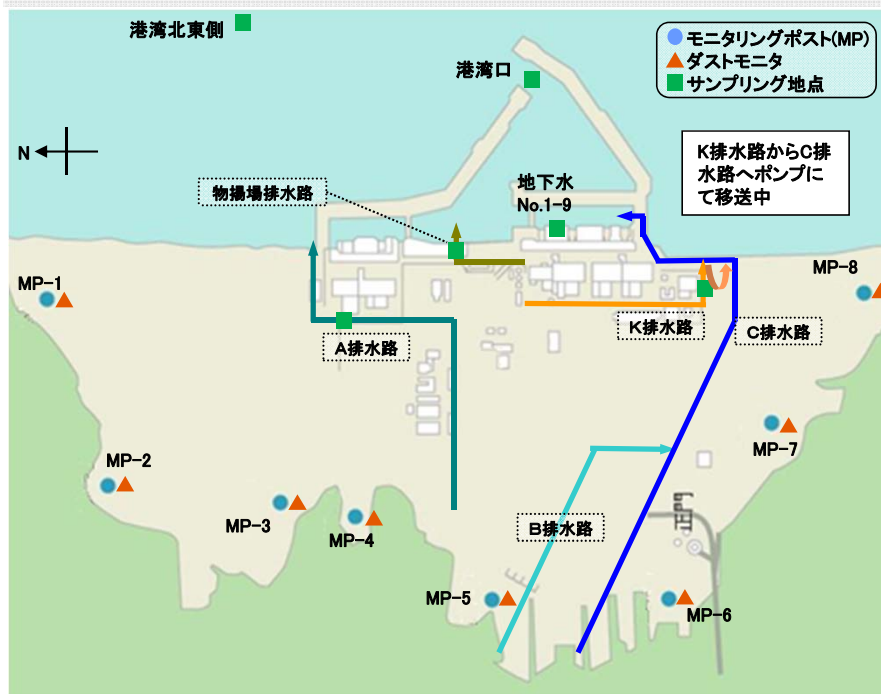
## ● 港湾内海水の放射性物質濃度の傾向

海側遮水壁閉合作業のうち、鋼管矢板の打設が完了し、鋼管矢板打設完了後の1～4号開渠内および港湾内海水の放射性物質濃度に低減の傾向が見られます。継手処理も完了したことから、引き続き、港湾内の水質を確認していきます。



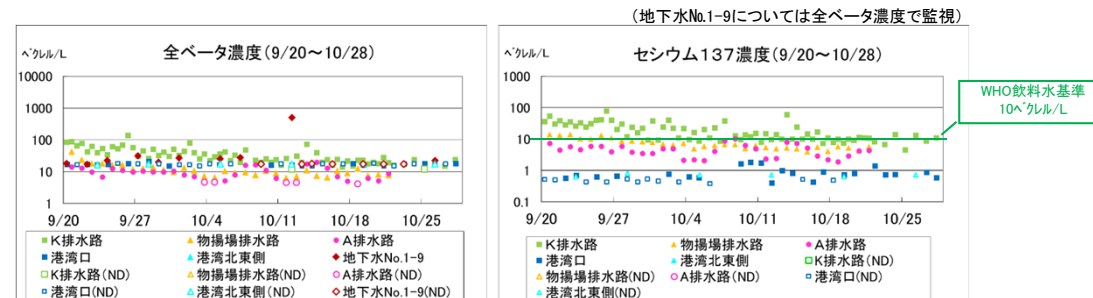
## ● 1号屋根パネル取り外し完了後もダスト(粉じん)濃度は安定

10月5日、1号機原子炉建屋カバー屋根パネル取り外し作業が完了しました。取り外し完了後も、敷地境界の8箇所を含め敷地内に20箇所設置してあるダストモニタのダスト(粉じん)濃度に有意な変動は確認されておりません。



## A 水(海水、排水路、地下水等)

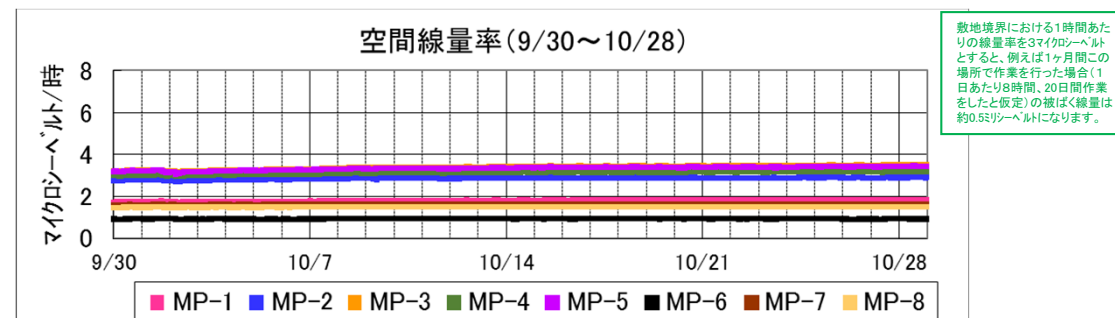
- ・期間中、降雨は少なく、上昇は見られなかった。
- ・セシウム137は、K排水路、物揚場排水路を除き概ねWHO(世界保健機関)飲料水基準を下回った。



- 全ベータとは、ベータ線を放出する全ての放射性物質。ストロンチウム、コバルト等が代表的。セシウムも含まれる。
- 物揚場排水路、A排水路の最新データは2015年10月21日。
- 荒天により、10/7～10/8の港湾口は欠測。
- (ND)は、不検出との意味で、グラフには検出下限値を記載。

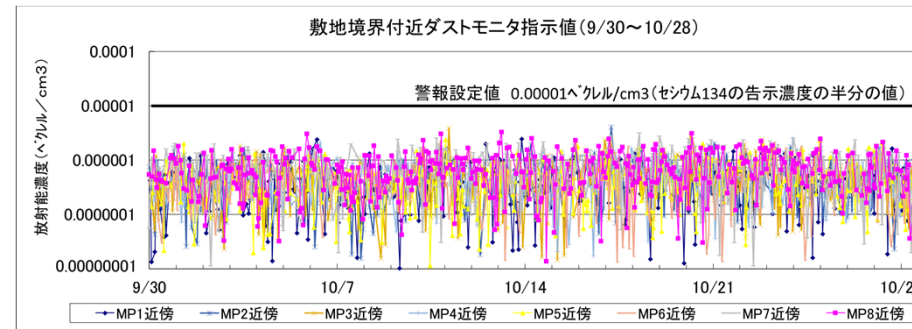
## B 空間線量率(測定場所の放射線の強さ)

- ・降雨による一時的な線量率低下が何度か見られたが、低いレベルで安定。



## C 空気中の放射性物質

- ・大きな上昇はなく、低濃度で安定。

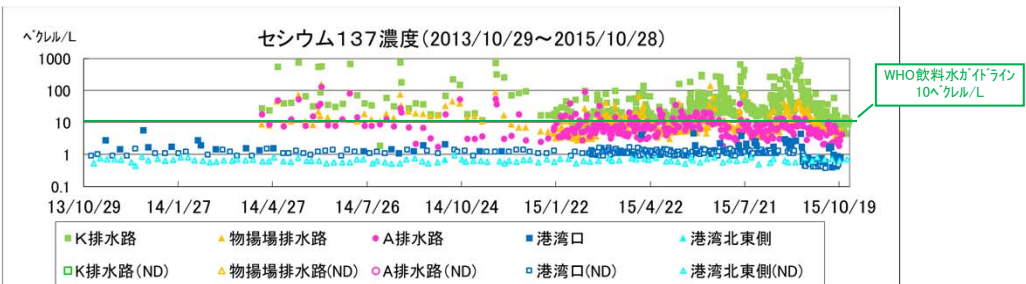
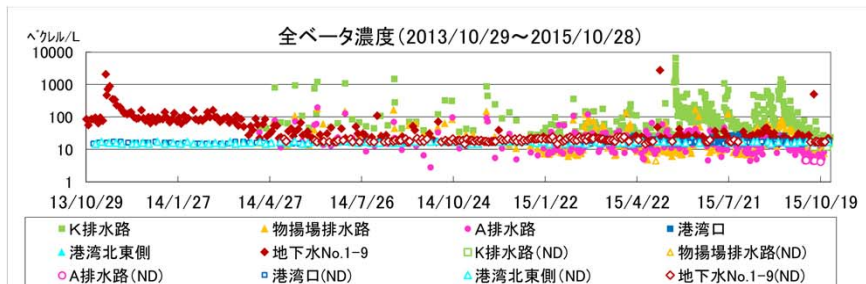


- 告示濃度とは、法令に基づき国が排出を認める濃度。国内の原子力施設共通の基準。

# 放射線データの概要 過去の状況

## A 水(海水、排水路、地下水等)

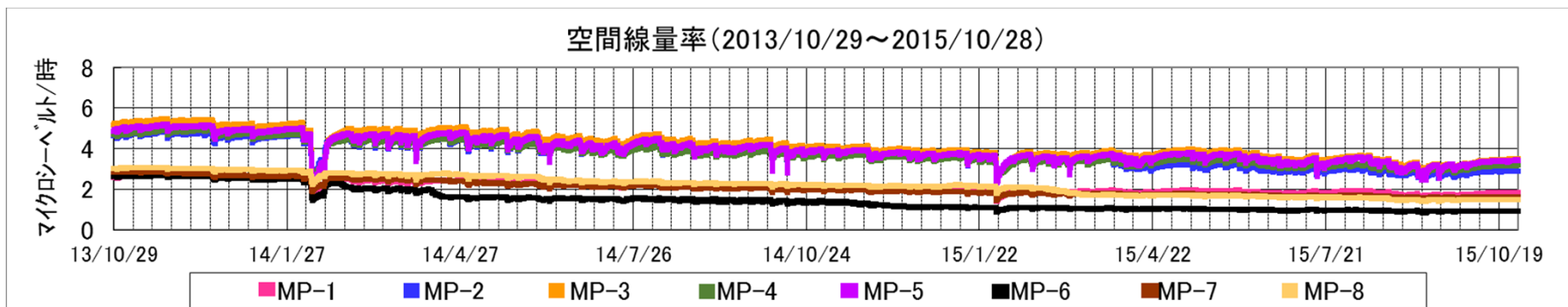
- ・港湾口は低水準で安定。セシウム137はWHO飲料水基準未満。
- ・K排水路は比較的高い傾向。現在、清掃やC排水路への汲み上げ等の対策を実施中。



- ・K排水路、物揚場排水路、A排水路については2014年4月16日より測定を開始。また、物揚場排水路、A排水路の最新データは2015年10月21日。
- ・港湾口北東側については、2013年11月7日より測定を開始。

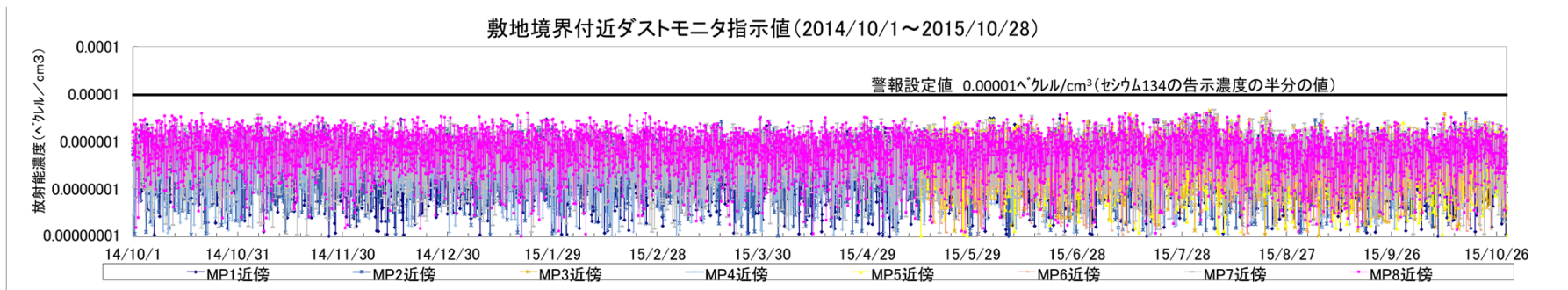
## B 空間線量率

- ・汚染水の浄化、除染、フェーシング、飛散防止の徹底等が奏功し、全てのモニタリングポストにおいて約半分まで低下。



## C 空気中の放射性物質

- ・ダストの濃度は、大きな上昇は無く、低濃度で安定。



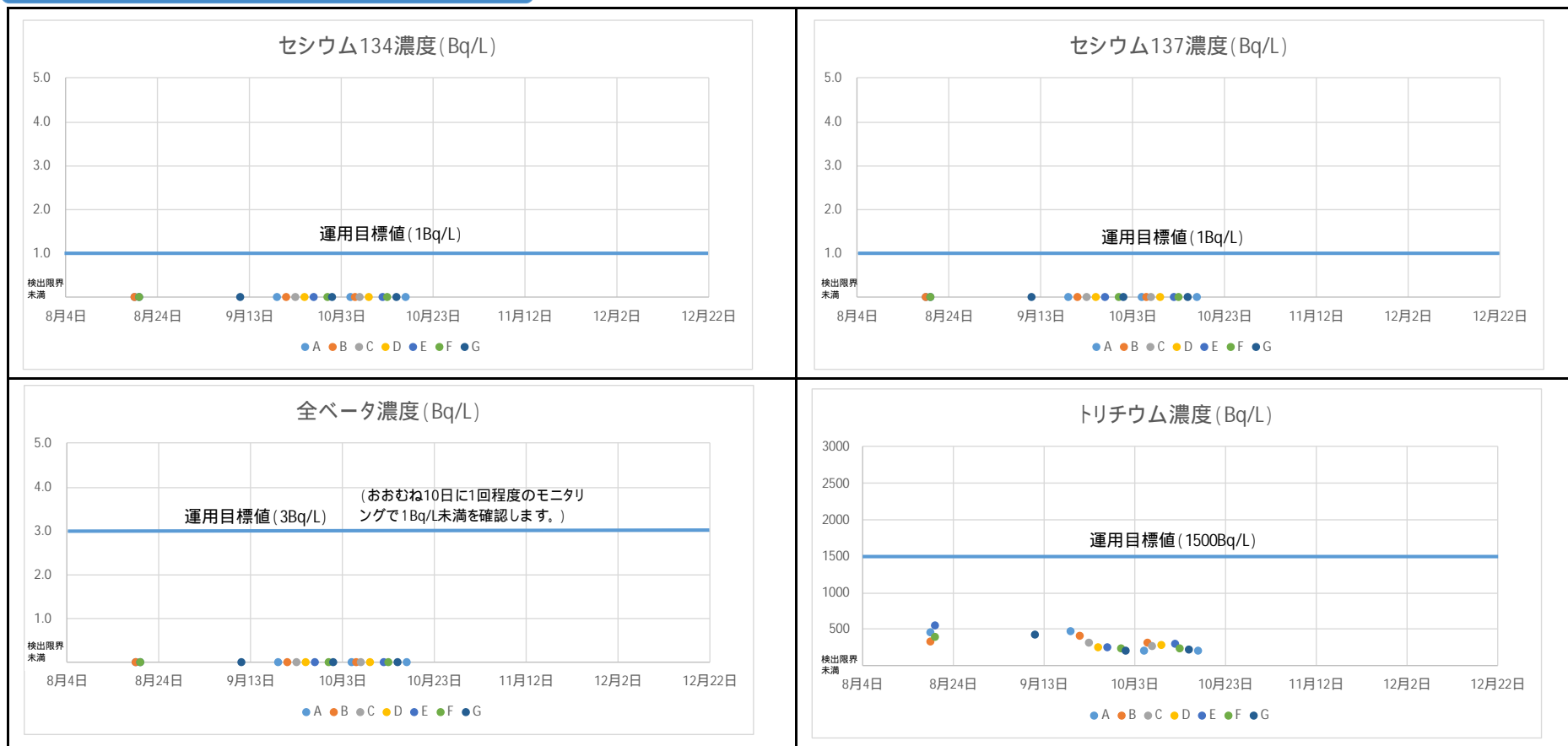
- ・MP1、2、4、7、8近傍は2014年10月1日、MP3、5、6近傍は2015年5月14日より、測定開始。
- ・2015年8月7日 7時34分~7時42分の間、自然界の放射性物質による警報値超えが発生 (最大: 0.000022 ベクレル/cm<sup>3</sup>)。ただし、本グラフは正時の瞬時値により作成しているため当該時刻のデータは反映されていない。

# サブドレン・地下水ドレンによる地下水のくみ上げと分析

## 分析結果・排水の実績

一時貯水タンクに貯留しているサブドレン・地下水ドレンの分析結果は、いずれも運用目標値を下回っていることを確認しました。  
同じサンプルを第三者機関にて分析を行い、運用目標値を下回っていることを確認して、9月14日から10月27日までに合計20回、14,916m<sup>3</sup>を排水しました。

## 一時貯水タンクの分析結果（当社分析値）



サブドレン・地下水ドレンの分析結果の詳細については、<http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html#anc01sd>をご覧ください。

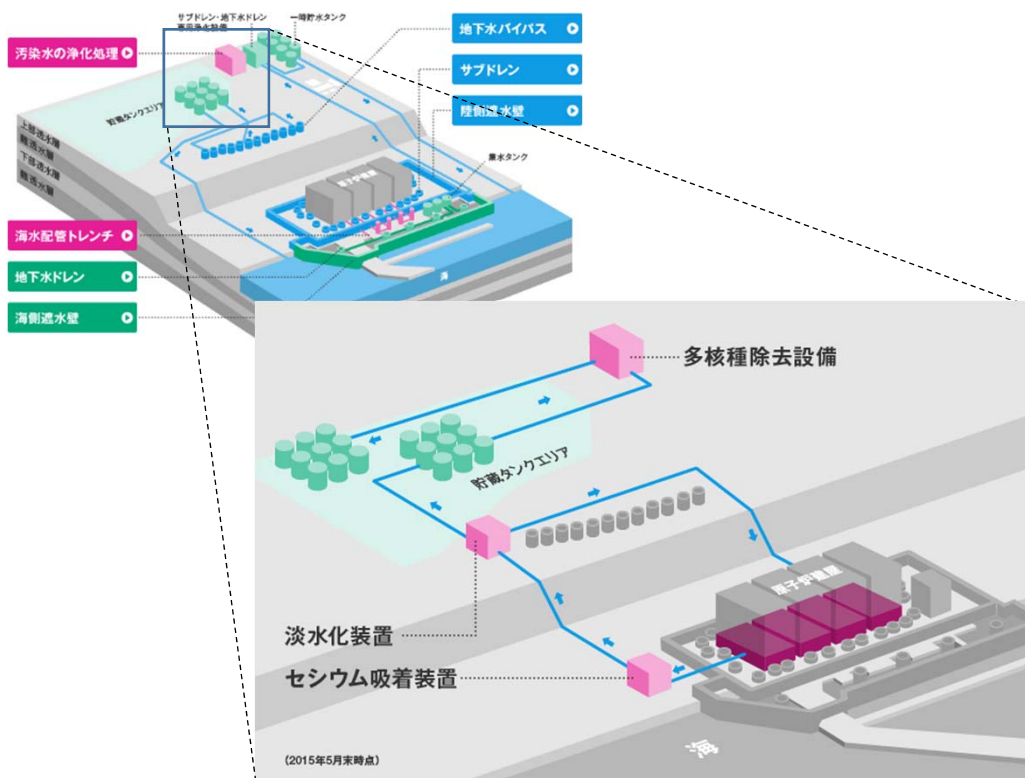
# 汚染水の浄化と分析(1)

## 設備の役割・概要

原子炉建屋内に滞留している汚染水は、多核種除去設備（ALPS）などの浄化設備でトリチウム以外の放射性物質を取り除きます。トリチウム以外の放射性物質を取り除いた汚染水は、敷地内のタンクで貯蔵しています。

## 放射能の測定・公開

多核種除去設備等の浄化設備では、定期的に処理前後の水の放射能濃度を測定し、その除去性能を確認・維持しています。また、その測定結果についてはホームページにて公開しています。



## 多核種除去設備



## 増設多核種除去設備



## 高性能多核種除去設備



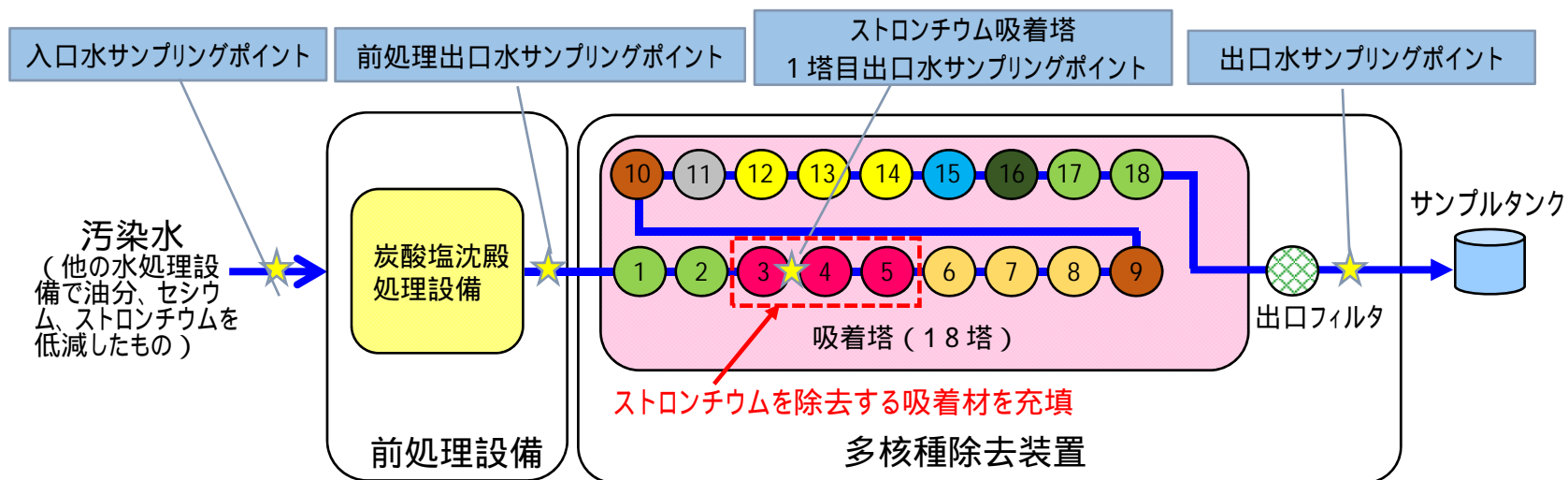
# 汚染水の浄化と分析(2)

## 増設多核種除去設備概要とサンプリングポイント

増設多核種除去設備は前処理設備と多核種除去装置で構成し、トリチウムを除く放射性物質を取り除いています。

前処理設備： 多核種除去装置での吸着材によるストロンチウムの除去を阻害するマグネシウム、カルシウム等を除去します。

多核種除去装置： 吸着塔内に除去したい核種に応じた吸着材を収容しており、処理対象水に含まれる放射性核種を吸着処理します。



増設多核種除去設備の入口水・処理済水に含まれる放射能 (ストロンチウム90) 濃度の推移 (ベクレル/リットル)

吸着塔No.	主な除去核種
1,2,17,18	粒子状で存在している放射性核種 (コバルト, ヨウ素等)
3,4,5	ストロンチウム等
6,7,8	アンチモン等
9,10	アンチモン, ヨウ素等
11	ヨウ素等
12,13,14	セシウム等
15	ルテニウム等
16	ルテニウム等

